

各 位

北海道ソフトテニス連盟  
会 長 高 橋 敬 治

## 第72回国民体育大会の寄附等のお礼について

秋冷の候 皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より、当連盟の活動にご支援・ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、愛媛県大洲市及び今治市で開催された「第72回国民体育大会」への選手団の派遣にあたりましては、個人並びに支部より激励のお言葉やご厚志を賜りましたことに、心より厚くお礼申し上げます。

今年の国体は、昨年の好成績もあり、多くの都府県から注目され、成年男子においては特に対戦相手に分析もされていることが感じ取れる状況での戦いでした。

昨年優勝の成年男子は、第1シードで1回戦不戦勝、2回戦は初戦に兵庫県を破り勢いのある鹿児島県を相手に第1ダブルス、2番シングルスともに接戦をものにし、入賞を確定させました。準々決勝は、宮城県との対戦となり、1番の内海・庄司ペアが、ゲームカウント2-3、ポイント0-3の相手マッチポイントから内海選手が相手スマッシュをスーパーフォローで逆ポイントにし、そこから大きく流れを引き寄せ逆転勝ちをしました。2番シングルス大塚選手は、相手に良く分析され、厳しい戦いとなりましたが、ファイナルゲームを粘り強く戦い、大接戦を制して、北海道が準決勝進出を決めました。

準決勝は、三重県との対戦となりましたが、第1ダブルス、次のシングルスともに接戦からのあと1本がとれず、2年連続決勝進出の夢には届きませんでした。

3-4位決定戦については、2年前の国体開催地でシングルの日本代表増田選手を有する和歌山県との対戦となりました。北海道は、オーダーを入れ替え、トップに北海道の河野、榊原ペアを起用しましたが、ゲーム前半は、剛球で押してくる相手後衛に終始先手を取られ、ゲームカウント0-3の大ピンチとなりましたが、形勢逆転を狙った河野選手の強気の攻めから流れを引き戻し、一気にファイナルゲームまで追いつき、ファイナルゲームでは、ゲームの勝敗を決定づける榊原選手のボレーポイントで一気に勝利を手繰り寄せました。2番シングルス大塚選手は、三重戦で国体初の敗戦を経験しましたが、そこから気持ちを立て直し、シングルス日本代表の増田選手を寄せつけない圧巻のゲームを展開、4-0の完勝で第3位を決め、昨年の決勝戦にも匹敵する緊迫感と観客を魅了する好ゲームに北海道ベンチは歓喜に包まれました。

また、昨年8位の成年女子は、1回戦、強豪の実業団選手を有する富山県にトップ中谷・長内ペアが4-2で勝利したものの、2番宮田選手、3番生田・高橋ペアともに惜敗し、3年連続の入賞には届きませんでした。

少年男子については、全都道府県のフルエントリーの年でしたが、初戦に鳥取県と対戦し、1番のダブルス増田・中島ペアは1-4で敗れたものの、2番シングルス納藤選手が粘り強く戦い4-3で勝利し、3番藤田・亀田ペアにつなぎ4-2で勝利。2回戦は、今年のインターハイ男子団体チャンピオンで注目を集めている羽黒高校単独チームの山形県と対戦し、1番、増田・中嶋ペアがファイナルの接戦をものにできず、2番シングルスも第1ゲームを競り合うものの中盤以降は終始相手のペースとなり惜しくも3回戦進出とはなりません。また、少年女子については、初戦、宮城県との対戦となりましたが、トップの高橋・佐藤ペアが、十分な力を発揮することができず、1-4で敗れ、2番シングルス加藤選手も中盤から粘り強い戦いを展開するもののゲームポイントを取り切れず2-4で敗れ、少年は、入賞に届きませんでした。

国体は、シングルス導入以降、ダブルス3対戦の他の大会とは違い、上位進出県も顔ぶれが変わり始めてきました。今後もシングルスが大きなカギを握ってくるものと思われ、今後の対策がより一層重要になると感じさせる大会でした。

しかしながら、成年男子は、北海道成年男子の成績としては、昨年の優勝に続く、過去2番目の成績であり、他府県から分析もされ、プレッシャーもある中、監督・コーチ・選手が一丸となって戦ったのが好成績でした。これまで支えていただいた多くの関係者の総合力の結果であり、心より感謝を申し上げます。今後、さらに課題を克服しながら、北海道のソフトテニス界発展のため、関係者一同努力していく所存でございますので、皆様には、引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本来であれば、ご支援をいただいた皆様に、直接、お礼を申し上げるべきところですが、まずは、略儀ながら、書中をもって、報告とご支援に対するお礼に代えさせていただきますとともに、貴殿の益々のご活躍を祈念いたします。ご支援ありがとうございました。

# 第72回国民体育大会ソフトテニス競技北海道結果一覧

## ◆成年男子 【愛媛県大洲市】

2回戦 10月6日

○	北海道		2	—	1	鹿児島県	
		単	1	—	0		
		複	1	—	1		
○	内海・庄司		④	—	3	柳田・神川	
○	大塚		④	—	2	松山	
	河野・榊原		1	—	④	栗山・上之菌	○



準々決勝 10月6日

○	北海道		2	—	0	宮城県	
		単	1	—	0		
		複	1	—	0		
○	内海・庄司		④	—	3	九島・森田	
○	大塚		④	—	3	佐藤	
	河野・榊原			—		小田島・工藤	



準決勝 10月7日

○	北海道		0	—	2	三重県	
		単	0	—	1		
		複	0	—	1		
	内海・庄司		2	—	④	井上・川淵	○
	大塚		1	—	④	内田	○
	河野・榊原			—		萩原・芝井	



3・4位決定戦 10月7日

○	北海道		2	—	0	和歌山県	
		単	1	—	0		
		複	1	—	0		
○	河野・榊原		④	—	3	古賀・杉尾	
○	大塚		④	—	0	増田	
	内海・庄司			—		中山・塩寄	

### ◎成年男子入賞都道府県

優勝 広島県、準優勝 三重県、第3位 北海道、第4位 和歌山県  
第5位 宮城県、第6位 愛知県、第7位 岩手県、第8位 群馬県



◆成年女子 【愛媛県大洲市】

1回戦 10月6日

	北海道		1	—	2		富山県	○
		単	0	—	1			
		複	1	—	1			
○	中谷・長内		④	—	2		浅田・村井	
	宮田		1	—	④		徳川	○
	生田・高橋		1	—	④		渋谷・桑名	○

◎成年女子入賞都道府県

優勝 千葉県、準優勝 京都府、第3位 福島県、第4位 兵庫県  
第5位 新潟県、第6位 富山県、第7位 広島県、第8位 福岡県

◆少年男子 【愛媛県今治市】

1回戦 10月8日

○	北海道		2	—	1		鳥取県	
		単	1	—	0			
		複	1	—	1			
	増田・中嶋		1	—	④		宇田川・松本来	○
○	納藤		④	—	3		松本流	
○	藤田・亀田		④	—	2		小川・河本	

2回戦 10月8日

	北海道		0	—	3		山形県	○
		単	0	—	1			
		複	0	—	2			
	増田・中嶋		3	—	④		金子・佐藤	○
	納藤		0	—	④		村田	○
	藤田・亀田		0	—	④		根本・齋藤	○

◎少年男子入賞都道府県

優勝 奈良県、準優勝 島根県、第3位 山形県、第4位 宮城県  
第5位 大阪府、第6位 岩手県、第7位 石川県、第8位 沖縄県

◆少年女子 【和賀川テニスコート】

1回戦 10月4日

	北海道		0	—	3		宮城県	○
		単	0	—	1			
		複	0	—	2			
	高橋・佐藤		1	—	④		原田・小松	○
	加藤		2	—	④		片野	○
	本吉・小鹿		3	—	④		小林・金	○

◎少年女子入賞都道府県

優勝 東京都、準優勝 三重県、第3位 神奈川県、第4位 和歌山県  
第5位 新潟県、第6位 広島県、第7位 福岡県、第8位 鹿児島県

【男女総合成績】北海道 11位